

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定

により通告します。

平成 28 年 11 月 20 日

議席番号 7 番

東村山市議会議長 様

質問者 小林 美緒

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>久米川駅南口の環境整備について</p> <p>【久米川駅南口第一駐輪場の有効活用の見通しについて】</p> <p>①「民間提案制度導入調査委託」が繰越明許として予算化されたが、具体的にどのような調査をしているのか進捗を伺う。</p> <p>②先進事例等で、東村山に合う参考になりそうな所はあったか伺う。また、あるとすればどこで、どのような取組か伺う。</p> <p>③PPP あるいは PFI を導入している自治体が多いが、東村山としての見解を伺う。</p> <p>④これを東村山で取り組んだ場合、どういった導入効果が得られると考えるか見解を伺う。</p> <p>⑤今後補助金に頼らずに、公民連携で地域の活性化を図ることが重要になってくると考えるが、市としての見解を伺う。</p> <p>⑥久米川駅第一駐輪場もそういった方向で進めるべきと考える。市としても「民間提案制度」を用いて公民連携手法等検討するという事だが、改めて考えを伺う。</p> <p>⑦企画・計画段階から民間事業者が参加する事が最も大切だと考える。まち全体に統一感を持たせるデザインなどが、まちの価値の向上にも繋がると考える。例えば委託業者を一本化するなど、何か策はあるか伺う。</p> <p>⑧有効活用として、駐輪場はもとより地場野菜を使ったバルや若者の集まるシェアオフィスなど創業支援も視野に入れた地元商店会に更なる活気をもたせる施設づくりを望む。仕掛けの検討をお願いしたいが見解を伺う。</p>

議席番号 7番

質問者 小林 美緒

番号	質問の項目と要旨
	<p>【久米川駅南口駅前広場の環境美化について】</p> <p>①南口駅前広場の状況を、環境や景観の悪化といった側面からみて、市はどのように捉えているか伺う。</p> <p>②ケヤキの木についても、現在はイルミネーションはなく鬱蒼と生い茂り暗い印象も受ける。ケヤキの木やその周りを囲うベンチ等についても見直しが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ネーミングライツについて、過去東村山での取組を伺う。</p> <p>④大きな箱物ではなく最近では、渋谷区など先進事例として「公衆トイレのネーミングライツ」がよく聞かれるようになった。東村山市として可能性を伺う。</p> <p>⑤市民や地域の声を聞いて、共有した上で統一感のある空間作りをするべきと考える。行政と企業が連携してトイレや駅周辺の環境美化を行うことで周辺店舗や事業者等の意識を醸成していくことは大事である。以上を踏まえて、改めて東村山市としての見解を伺う。</p> <p>⑥今後、南口と北口を色んな意味で繋げていく為にも、駅前広場は地域の顔であり駅を降りた人々が持つ最初の印象として残るものである。人が降りたくなる駅、地域として、駐輪場用地有効活用とともに駅周辺の価値向上を図るべきと考える。久米川駅南口のこれからの環境整備、北口を含めた今後のまちづくりについて市長に伺う。</p>